

平成26年度 東毛地区小学校体育科授業研究会 レポート

期 日：平成26年11月11日（火）

会 場：太田市立沢野中央小学校

単元名：器械運動（マット運動）

指導者：西本 賢 教諭

今年度の東毛地区授業研究会は、太田市立沢野中央小学校の西本賢先生が授業を提供してくださいました。今回取り上げてくださったマット運動は、指導が苦手という先生も多いのではないのでしょうか。本時の授業は、そんな私たちにたくさんのヒントを与えてくださいました。



まずは、ウォーミングアップでぞうきんかけ。とび箱の時には馬とびにしているそうです。当然、この前に体操やストレッチで傷害予防をしています。

会場全体の様子です。多くの工夫された「場」が提供され、児童は自分の必要に応じた「場」を利用することができました。



【左上】とび前転が怖い児童は、エバーマットで練習し、恐怖感を取り除いてから、マットで練習しました。

【右上】タイムシフト再生ビデオで、自分の演技の様子を見えています。

【左】西本先生が側方倒立回転を示範しています。この後、児童から拍手が巻き起こりました。



とび前転でゴムひもを利用し、「とぶ」、「大きく回る」という感覚を身につけました。また、右の側方倒立回転でもゴムひもを利用し、足を伸ばす感覚を身につけました。



側方倒立回転では、着地の順番を「手、手、足、足」と合言葉のようにして、児童に意識させたり、手を着く位置を軍手で示したりすることも有効でした。

授業研究会では、先生方が6班に分かれて班別協議を行いました。授業観察チェックリストを元に、「教師の相互作用」、「学習環境」、「意欲的学習」、「授業の勢い」、「効果的学習」の観点から話し合いを深めました。



班別協議の様子。提案された授業について、取り入れたいよい点や、さらに改善し、効果的な授業にするための方策など、多くの意見を出し合って協議しました。



班別協議の一コマ。参加者とともに理事の校長先生も協議に参加されていました。忌憚ない意見交換の中から、よりよい指導に迫ろうとする先生方の熱意が伝わってきた場面でした。

指導講評では、太田市教委の細谷寿夫指導主事より、誰にでもできる一般化された授業にすること、正しい技術の指導と安全面への配慮や「はばブラ」実践編の活用など、私たちの今後の指導に役立つ、実践的なご指導を頂きました。

普段、他の先生方の授業を見る機会があまりない中、このような機会はとても貴重で、日ごろの悩みや疑問を解消するためにも大変有意義な機会でした。授業を提供してくださった西本先生、準備や当日の運営にご尽力いただいた、市川校長先生はじめ太田市小体研の先生方、また、会場を提供してくださった、川上校長先生はじめ沢野中央小学校の先生方、ご指導いただいた細谷指導主事他太田市教育委員会の皆様に心から感謝を申し上げます。

文責：松澤年紀（みどり市小体研）